

たのペットは大丈夫!?

世界最悪の感染率 16パーセント

が て い る!

口内炎や下痢などが初期症状。

全世界のエイズ患者は、44万6681人——世界保健機関(WHO)は、このほど昨年末現在で確認されたエイズ患者

数をそう発表した。未確認患者も多く、現実には約150万人にのぼると推定されている。

さらに、エイズウイルスの感染者まで対象を広げると、900万~1100万人と、WHOは推定し、今世紀末には3000万~4000万人にのぼると見ている。

ウイルス感染者が発病して患者になるのは、平均して10年。

エイズ禍は一段と深刻な様相を呈しているが、そんな折、またシヨッキングな報告が飛び出した。

「日本は世界で一番のネコのエイズ汚染国になっている!」

人間のほうに、日本の確認患者は405人で、アメリカの20万人以上にくらべれば、また少ないほうだが、

ネコのエイズは、なんと世界一だというのだ。

日本人には愛猫家が多い。犬のような登録制度がないので、その実数は把握しにくい、飼

ネコのエイズウイルス。人間のエイズウイルスに似ている。

いネコだけで約300万匹、ノラネコを加えると、その2~3倍になるとみられている。

ところが、エイズウイルスに感染したネコが2割近くもいるというのだ。

日本獣医畜産大学の石田卓夫助教授は、ネコエイズ研究の第一人者だが、動物管理事務所からまわされてきたネコの検査を続け、これまで約3万件を調べたところ平均陽性率は16パーセント。エイズウイルスに感染したネコがうようよいといた印象なのだ。

人間の世界では圧倒的にエイズ患者が多いアメリカも、ネコのエイズ陽性率はわずかに1・2パーセント。日本の10分の1以下だ。どうしてこんな差が出ているのだろうか?

「ネコの場合、人間と違って、生殖行為ではあまり感染しません。ほとんどは、けんかの傷からが多いんです。ネコというのは、かならず自分の生活テリトリーをもちますが、それをほかのネコに侵されるとけんかになる。日本の場合、狭い所にネコがいて、けんかが絶えないんです。」

その点、アメリカは国土が広いし、ネコの生活テリトリーも広いので、あまりけんかせずすむ。それがエイズ陽性率の大きな差になっっていると思います」

かわいそうに日本のネコたちは、狭いナワバリ争い

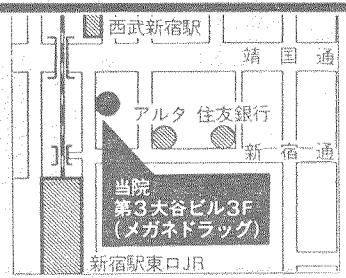
美容外科

・院長／秦 真治

03-3350-2056

年中無休
AM10:00~PM8:00
各種カード・クレジット可

新宿東口美容外科



東京都新宿区新宿3-23-4 第3大谷ビル3F